

【小川自治会自主防災隊】

下小川支隊通信

平成29年度第1号（通算第6号）

発行・平成29年6月15日

製作・下小川支隊 支隊長会

去る6月4日(日)、平成29年度第1回目の「支隊長・責任者会議」を開催しました。会議には、責任者18名中の16名に支隊長5名を加えた総勢21名の方

のご出席をいただき、本年度の支隊構成・活動内容などを討議いたしました。なお、本年度の下小川支隊の構成・役割分担は次の通りです。

●支隊長会

昨年度に引き次ぎ下記5名が務めます。支隊長の任期は複数年としますが、いずれ交代のルールを作る必要があります。

代表支隊長	荻原紹夫	(1支部4班)
支隊長	平田一郎	(1支部3班)
支隊長	池田正明	(1支部2班)
支隊長	大高 晃	(11支部4班)
支隊長	鮫島 穰	(1支部3班)

●責任者一覧

責任者は自治会班長の兼務です。4つの専門班に分かれますが、具体的な活動は中止していますので便宜上の区分けとお考えください。

●情報・広報	柳本恭子	(11支部6班)
(担当平田)	松岡郁子	(1支部4班)
	伊藤由紀子	(3支部4班)
	櫻井秀一	(8支部5班) ↑

●防災の基本は『絆』

初めに、第1回目の支隊長・責任者会議には9割を越す方々のご出席をいただき感謝申し上げます。会議では、本支隊の防災の目的・目標をはっきりさせて欲しい、あるいは、ハードよりソフトの充実を、というようなご意見をいただきました。ごもっともなご意見だと思います。確かに、防災に対しての考え方は各ご家庭で異なります。さらに近辺の立地条件等を考えると他にも多くのご意見があるかと思えます。さらに、防災訓練自体にも多様な意見があります。例えばスタンドパイプ（SP）訓練一つをとっても、「いざという時に役に立つのだろうか」などの疑問や、災害に直面した場合の諸々の難題が続出します。しかし“防災”を考えると一番重要なのはご近所との連携、つまり“絆”ではないでしょうか。SP訓練も地域交流の一つのツールと考えればあながち無駄ではなかるうと思えます。交流が絆を生み、防災の理念「自助・近助・共助」に現実性を持たせることができるかもしれません。また、訓練からは防災に対する日常の心構えや知恵を教えられるかもしれません。スペースの関係で多くは申し上

●避難・誘導	塩見千代美	(1支部1班)
(担当池田)	木村潤一	(1支部7班)
	中村和俊	(8支部1A班)
	常田喜代美	(8支部6班)
	藤田美砂子	(11支部4班)
●防火・消化	矢野矩子	(1支部2班)
(担当大高)	大井貴子	(3支部1班)
	室橋和之	(8支部1B班)
	生方正之	(11支部1班)
	山本吉徳	(11支部5班)
●生活・支援	伊藤あゆみ	(1支部3班)
(担当鮫島)	大山尚久	(3支部3班)
	鈴木 恭	(8支部2班)
	塚本幸恵	(11支部3班)
※ ()	は担当（連絡係）支隊長です。	

★小川自治会自主防災隊は、地区内の公園を避難場所と想定して5支隊で構成されます（下小川支隊、せんげん支隊、かえで支隊、蜂谷戸支隊、柳谷戸支隊）。下小川支隊に所属するのは、4支部18班、所帯数は342、支隊の内で最多（小川自治会の約30%）です。

げられませんが、私どもは防災訓練の意義の一つとしてこのように考えております。ご理解とご協力をいただければ幸いです。最後に、本年度最初の活動「SP訓練」のご案内をいたします。

代表支隊長 荻原紹夫

●スタンドパイプ（SP）訓練

日 時	平成29年7月22日（土）
	午前 9:00～11:30（予定）
集 合	下小川公園の防災倉庫前
訓練場所	下小川公園の西南部の路上

下小川公園内の防災倉庫に保管しているスタンドパイプは、水道管の取水栓（特定のマンホール内にある）に接続して放水する簡易消火器です。設定には多少のコツが必要ですのでご近所お誘い合っただけでなく多くの方に体験していただきたいと思えます。なお、雨天の場合は事前に連絡を流します。

